

令和元～3年度の研究のまとめ

1. 趣旨

新高等学校学習指導要領への円滑な移行に向けて、移行期間にあたる令和元年度からの3年間は、群馬県高等学校教育研究会音楽部会における事業のうち、「授業研究会」及び「夏季研究会」、「部会講演会」を統一した研究テーマの下で開催し、令和4年度からの新高等学校学習指導要領による取組を推進した。

2. 研究テーマ

「現行学習指導要領を基とする取組の充実」及び「新学習指導要領の理解と実践」

3. 研究内容

(1) 授業研究会

概要：「現行学習指導要領を基とする授業実践の充実」及び「新学習指導要領の理解」

方策：授業研究における班別協議の際、以下の「授業研究の視点」に基づいて協議を行った。

- ① 本時における学習内容は、「新高等学校学習指導要領」におけるどの「指導事項」と関連するか
- ② 本時の学習目標を達成することで、どんな「育成を目指す資質・能力」が身に付くか
- ③ 本時の展開で、「主体的・対話的で深い学び」となっていた場面はどこか

年度	回	日付	実施校	授業者 (教諭)	科目・ 分野	題材名
令和元年度	1	令和元年 9月19日(木)	利根沼田学校組合立利根商業高等学校	小川 唯佳	音楽Ⅰ・ 器楽	音色や奏法を工夫してギターアンサンブルを楽しもう
	2	令和2年 1月22日(水)	群馬県立桐生女子高等学校	青柳 亮	音楽Ⅰ・ 器楽	リコーダーの響きを味わおう
※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から延期						
令和3年度	1	令和3年 7月14日(水)	群馬県立安中総合学園高等学校(オンライン)	富岡 恵美	音楽Ⅰ・ 器楽, 鑑賞	「さくらさくら」を三味線で奏でて味わおう～引き継がれる日本の伝統音楽～
	2	令和4年 1月18日(火)	群馬県立太田フレックス高等学校(オンライン)	木部 誠	音楽Ⅱ・ 創作	和太鼓曲を創ろう

(2) 夏季研究会

概要：「新学習指導要領の理解と実践」

方策：夏季研究会の協議や実技、講義について、以下の視点から研修を計画・実施した。

芸術科(音楽)における「資質・能力」及び「見方・考え方」について

年度	日付	形態・題目等 / 講師・発表者
令和元年度	令和元年 8月19日(月)	講義 「見方・考え方」から読む新高等学校学習指導要領 講師 島田 聡(群馬県教育委員会事務局高校教育課 指導主事)
		報告発表 「令和元年度伝統音楽指導者研修会に参加して」 金田 知子(群馬県立富岡高等学校 教諭) 富岡 恵美(群馬県立安中総合学園高等学校 教諭)
		講義・実技演習 「実感を伴った資質・能力の育成授業実践」 「新学習指導要領に向けたギターを用いた授業構成」 鈴木 香奈子(群馬県立桐生南高等学校 教諭)

令和2	令和2年 8月19日(水)	講義・演習 「新しい学びはこうしてつくる！～新学習指導要領の実施に向けて～」 講師 島田 聡 (群馬県教育委員会事務局高校教育課 指導主事)
令和3年度	令和3年 8月18日(水)	講義・演習 「新学習指導要領の実施と評価」 講師 島田 聡 (群馬県教育委員会事務局高校教育課 指導主事)
	(オンライン)	実践発表 「Google Workspace for Education を活用した授業実践」 坂本 将 (群馬県立館林女子高等学校 教諭)
		班別協議 「新学習指導要領と関連させた今後のICTを取り入れた授業の取組み」

(3) 部会講演会

概要：「現行学習指導要領を基とする取組の充実」及び「新学習指導要領の理解」

方策：講演の内容について、以下の視点を踏まえ依頼し、計画・実施した。

芸術科（音楽）における「資質・能力」及び「見方・考え方」について

年度	日付	題目 / 講師
令和元	令和2年 1月22日(水)	講演 「芸術科（音楽）における『資質・能力』及び『見方・考え方』 ～私たちはどこから来てどこへ行こうとしているのか～」 講師 北山 敦康 氏 (静岡大学 名誉教授)
※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から中止		
令和3	令和3年 11月24日(水)	講演 「新学習指導要領の趣旨を踏まえた高等学校芸術科音楽における指導と評価」 講師 河合 紳和 氏 (文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官)

4. 研究計画の推移

上記「2. 研究テーマ」に基づき、主として令和元年度及び令和2年度は、新高等学校学習指導要領の「理解」について、令和3年度は、その「実践」を含めて研究を進めた。ただし令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から延期または中止とした事業もあった（研究は継続）。また、令和2年度末までに県立高校における一人一台端末の配備が完了したことに伴い、令和3年度の定期総会時に下記の講習を実施した。

令和3	令和3年 4月28日(水)	講習 「Chromebook を使ってみよう～音楽の授業で何ができる？～」 講師 山越 康生 (群馬県教育委員会事務局高校教育課 指導主事)
-----	------------------	---

5. 研究の成果と課題

授業研究会においては、新学習指導要領で示されている指導事項や資質・能力、評価の観点の趣旨を踏まえた授業実践が行われ、現行学習指導要領を基とする取組の充実を図りながら、新学習指導要領の理解につながった。令和3年度には研究協議において Google Jamboard を活用した意見集約及び共有を行い、授業におけるICT活用の効果を実感できたとともに、意見を関連付けたり整理したりしながら「授業研究の視点」に沿ってこれまで以上に深く考えることのできた協議となった。

夏季研究会及び部会講演会においては、新学習指導要領を基とする実践を行うために必要な具体的な授業実践の方法と、指導と評価の一体化に関して理解を深めることができた。資質・能力や見方・考え方だけではなく、観点別学習状況の評価についても扱われ、今後の授業計画の策定を推進する充実した研修となった。

来年度以降は、学習指導要領の実践の充実（指導と評価の一体化）及び芸術科（音楽）の新たな学びの推進に向けた研究に取り組む。

文責：坂本 将（館林女子）